

## 1号機タービン建屋最下階エリア滞留水の除去に伴う現場確認

平成29年3月31日  
福島第一原子力規制事務所

### 1. 目的

1号機タービン建屋の滞留水については、追設ポンプによる滞留水の移送、水位低下作業を実施してきたが、東京電力は、最下階エリアの滞留水（一部残水が確認されているエリア及び未調査の孤立エリアを除く。）について除去できたと判断したことから、現場確認を行った。

### 2. 確認日時／確認場所

日時：平成29年3月30日（木）10:30～11:00頃  
場所：1号機タービン建屋1階及び地下1階中間部

### 3. 現場確認結果

1号機タービン建屋南側地下1階中間部南東側階段付近から、最下階を目視確認した結果、床面が露出していることを確認した。

地下1階中間部の空間放射線量率（ $\gamma$ ）については、0.5から0.7mSv毎時程度（一部高線量配管付近を除く）、中間部南東側階段付近で1.0mSv毎時程度と、最下階床面露出前と比べ有意な上昇は確認されなかった。

空气中放射性物質濃度（ $\beta$ ）の監視については、ダストモニタを設置し、1階北側及び南側、地下1階中間部南側付近の3か所からダストをサンプリングし、放射性物質濃度の連続測定を行っており、入退域管理棟において、建屋内ダスト遠隔監視システムにより、指示値を24時間体制で監視されていること、また、その指示値は、最下階床面露出前後ではほぼ安定的に推移（ $10^{-8}$ から $10^{-5}$ Bq/cm<sup>3</sup>程度）し、上昇傾向は確認されていないことを同システム指示値トレンドにより確認した。

### 4. 現場写真等（写真は原子力保安検査官撮影）



【写真1】1号機タービン建屋南側地下1階中間部南東側階段付近から、最下階を北側に向かって目視確認



【写真2】1号機タービン建屋1階ヒータールーム北側入口手前に設置されているダストモニタ本体



【写真 3】1号機タービン建屋1階ヒータールーム北側入口手前の吸引口(サンプリング箇所)



【写真 4】1号機タービン建屋1階南側付近に設置されたダストモニタ本体(2台)及び1階南側の吸引口(サンプリング箇所)



【写真 5】地下1階中間部南側付近の吸引口(サンプリング箇所)

以上